

様式第7号(第7条関係)

公の施設事業報告書

令和8年5月29日

下妻市長 様

所在地 茨城県下妻市小島 925-6
名称 有限会社スズラン・ロードハウス
代表者氏名 代表取締役 生井 浩司
電話番号 0296-43-6435

下妻市公の施設に係る指定管理者の指定手続等に関する条例第 11 条の規定により、次のとおり令和7年度事業報告書を提出します。

1 公の施設の名称

ピアスパークしもつま（農産物加工施設・ふれあい体験農園等）

2 管理業務の実施状況

別紙のとおり

3 利用状況及び利用拒否等の件数・理由

別紙のとおり

4 使用料又は利用料金の収入実績

別紙のとおり

5 管理経費の収支状況

別紙のとおり

2 管理業務の実施状況

(1) 農産物加工施設「工房 We mam」

農産物加工施設「工房 We mam」では、規格外農産物を積極的に活用した商品開発に取り組みました。

① 主な取組と成果

- ・下妻一高の生徒と共同開発した「恵水梨丸ごとゼリー」をリリースし、新たな取り組みとして広く発信いたしました。
- ・「シン・いばらきメシ」では下妻市を代表して「焼き芋カスタードブリュレ」を出品し、3日間で900個を販売することができました。
- ・新商品の「鰻蒲焼」や「漬け丼セット」がふるさと納税の返礼品として好評を得ており、今後の寄付額へのさらなる貢献が期待されます。
- ・「工房 We mam」の「すてないプロジェクト」の一環として、下妻一高、千代川中、八千代高、八千代東中、笠間高にてセミナーを開催いたしました。
- ・令和7年度のふるさと納税寄付額は、工房 We mam 関連商品（農産物返礼品を含む）で1億6,000万円となり、昨年度から6,000万円の増収を達成いたしました。

② 課題と今後の対応

保管スペースの確保：原材料の冷凍保管庫が不足しており、規格外農産物の十分な仕入れが困難な状況です。冷凍庫を増設し、大量ストックが可能となれば、販売数を大幅に伸ばせると考えております。返礼品のコストパフォーマンス向上と生産者支援のため、設備の導入が必要と考えますが、費用が問題です。

生産性の向上：原材料費や光熱費の高騰に対応するため、製造工程を効率化し、生産性を高めるよう努めてまいります。

商品開発：今後も市場ニーズを捉えた魅力的な返礼品開発を継続してまいります。

(2) ふれあい体験農園

地元の農業法人の協力を得て、管理運営を行いました。令和7年度は以下の収穫イベントを開催いたしました。

① 主な取組と成果

- ・夏季イベント「夏野菜の収穫体験」（7月21日）：50名が参加し、とうもろこし等夏野菜の収穫体験を実施いたしました。参加者には飲料や氷菓を無償提供いたしました。
- ・秋季イベント「さつまいも・長ネギ収穫体験」（11月9日）：78名が参加しました。悪天候のため、苅部農園倉庫（市内原）を活用して長ネギの袋詰めを行いました。当初計画では、苅部農園管理圃場で長ネギの収穫体験を、ふれあい体験農園内でさつまいもの収穫体験を実施する予定でした。

② 課題と今後の対応

- ・広報の強化：今後はマスコミ等へのリリースを積極的に行い、PR に努めます。
- ・運営体制の工夫：敷地が広いため、参加者の誘導や声掛けを工夫し、より円滑な導線管理に努めます。
- ・体験サポート：収穫作業に不慣れな参加者へのサポート体制を強化いたします。
- ・不測の事態への備え：今回のように、荒天時に備えた屋内スペースの確保をあらかじめ計画しておくことの重要性を確認いたしました。

(3) 視察及び研修等の受け入れ

「工房 We mam」の先進的な取り組みをPR するため、視察研修の受け入れや講演会を行いました。

○視察研修受け入れ実績（計 30 件・200 名）

（内訳）

- ・他自治体等：10 件（45 名）
- ・市町村議会等：3 件（50 名）
- ・教育機関：2 件（45 名）
- ・民間企業：15 件（60 名）

○講演会実績（計 10 件・720 名）

（内訳）

- ・自治体：1 件（20 名）
- ・生産者：2 件（50 名）
- ・教育機関：5 校（600 名）
- ・民間企業：2 件（50 名）

○今後の展開

今後も視察受け入れを継続するとともに、市内の小・中・高校において、この取り組みを知ってもらう啓発活動に積極的に取り組んでまいります。

3 利用状況及び利用拒否等の件数・理由

(1) 利用状況

視察研修受入 30件 （200人）

収穫体験受入 2件 （128人）

(2) 利用拒否

0件

4 使用料又は利用料金の収入実績 なし

5 管理経費の収支状況

自 令和 7 年 4 月 1 日 至令和 8 年 3 月 31 日

科目	金額 (円)
売上高	62,419,246
指定管理費	3,400,000
収入合計	65,819,246
期首棚卸高	5,970,412
仕入高	49,383,520
期末棚卸高	5,554,220
[売上原価]	49,799,712
【売上総利益】	16,019,534
[人件費]	10,433,254
旅費交通費	47,484
広告宣伝費	70,389
発送配達費	683,229
減価償却費	1,220,784
地代家賃	0
修繕費	156,355
事務用消耗品費	4,870
通信交通費	146,369
水道光熱費	852,120
車両燃料費	124,817
支払手数料	54,219
租税公課	103,410
寄付金	0
接待交際費	24,187
支払保険料	61,540
備品消耗品費	1,709,373
管理諸費	65,600
雑費	140,116
[一般管理費]	5,464,862
[販売費及び一般管理費]	15,898,116
【営業損益】	121,418
受取利息	0
受取配当金	0
雑収入	0
[営業外収益]	0
支払利息割引料	0

貸倒引当金繰入	0
雑損失	0
[営業外費用]	0
【営業外損益】	0
【経常損益】	121,418
【税引前当期純利益】	121,418